

研究課題名「胆管癌に対するゲムシタビン補助化学療法の効果の検証」に関する情報公開

1. 研究の対象

2007年1月1日から2017年12月31日の間に、当院消化器外科1にて切除治療を受けた肝門部領域管癌の方です。

2. 研究目的・方法・研究期間

予後不良な胆管癌に対する補助化学療法の有効性は現在でも確立されたものではありません。過去の臨床試験において、ゲムシタビンを用いた補助化学療法は無効とされている。しかし、症例数が少なくまた観察期間が短く、その結論は確定的ではありません。そこで、2007年から2010年の間に胆管癌に対し切除治療を行った方から、治癒切除例、非遠隔転移例、体調良好などの背景を満たす24人を対象とし、ゲムシタビンを行った方と行わなかった方の術後の経過を比較します。

研究期間は実施承認日から2022年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術内容、病理診断、長期予後などの電子カルテ上の既存情報を用います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 腫瘍外科学 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

研究担当・責任者氏名：名古屋大学大学院 腫瘍外科学 江畑智希

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)